

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

「子どもに今何が必要なのか」を常に考え、
地域として何ができるのかを考えながら企画し活動を行いたい。

【今年度の取組紹介】

“親子で凧づくり”

竹ひごを修復しながら骨組みをした上に、和紙を張り付けた和凧の製作に挑戦いたしました。各々が思い思いの図柄を描き、凧の製作の完成後の1月8日に凧揚げ大会を登美ヶ丘北中学校運動場にて開催いたしました。製作手順に沿って凧を完成いたしましたと思うように揚がらない作品もありましたが、講師の栗田先生の指導で糸のバランスが悪いとうまく揚がりにくいことを学びました。当日は奈良西警察署より特別参加による交通安全犯罪抑止の凧を制作し持参していただいた凧を園児達が揚げてくれました。子供たちは親子で凧揚げ大会を楽しみました。

“わんわんパトロール”

わんわんパトロールメンバー、地域の方々、ワンちゃんが参加により見守り活動、歳末の犯罪被害防止、交通事故防止の啓発活動を開催いたしました。当日はパトカー・ナポクン・ナポビーも参加してくれました。



【今年度のまとめ】

今年度の事業活動は昨年秋に植え付けたニンニクの収穫から始まりました。栽培期間中に校内立ち入り禁止期間もありましたが、ニンニクは十分に生育できたものと未成育のものも含め初めて収穫しました。星空観察は昨年の観察中止の影響から100名を超えるお申し込みをいただき、密を避けるために3グループに分けて開催いたしました。

ひつじ放牧活動は2年ぶりに行い、10日間放牧になりましたが、延べ200名の方々にお世話をさせていただきました。子どもたちが楽しそうにお世話をする姿に感動いたしました。パソコン教室は2回開催いたしました。NPO 法人と協賛でいたしました。サマースクールは4講座を開催しました。

とみきた塾としてはダンスクラブによるクリスマスイベントと並行してメンバーによる近隣公園の清掃活動をいたしました。凧づくりと凧揚げ大会開催、わんわんパトロールメンバー、地域住民の方々への防犯啓発活動の講習会開催なども行いました。

【来年度に向けて】

ひつじの放牧をはじめ、凧作り、ダンス教室の継続を期待する声が多くありました。星空教室については気象条件に影響するので打ち合わせを綿密に行います。

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

様々な活動を地域に発信する意識を持ち、
できる限り子どもたちが地域とのつながりを感じられる取組の充実。

【今年度の取組紹介】

今年度は昨年度に続き、コロナ禍の中で活動が大きく制限される1年となりました。コロナ禍前には、学校と地域とより深く連携していくために、生徒会が目指す取組を地域の方に理解していただきながら具体的な活動と支援をお願いしてきましたが、これまで通りとはなりませんでした。「学校力向上事業」として実施してきた東登美ヶ丘小学校や登美ヶ丘高校と朝のあいさつ運動や「防災教育推進事業」として実施してきた炊き出し訓練など、学校と地域の方、保護者の方と協力して実施してきた各事業も途絶えたままです。しかし、感染予防に注意しながら「キャリア教育推進事業」として、講師の方に来校していただき、性教育、面接指導や労働にゲストティーチャー講座などの取組は実施することができ、人間関係形成能力や課題対応能力を培いました。



【今年度のまとめ】

地域のつながりを深めるため、防災教育推進事業に力を入れていましたが、今年度は実施できませんでした。しかしながら、今年度継続して実施できた事業を通して、地域と連携して、自分たちも地域の一員として貢献しなければならないことを理解し、災害時等における心構えにもつながれたと考えています。地域の大人から学ぶことの大切さも理解され、地域の大人と関わることでつながりを活性させ、その中で果たすべき自分たちの役割と責任を理解してくれているようです。

【来年度に向けて】

小中連携と中高のつながりを深めつつ、地域の方と協働する活動の内容を充実させ、本校区の学校ブランド力を高めていくとともに、学校活動に幅広い年齢層の方々に参加を求め、学校を起点とした新たな交流と地域の活性化につなげていきたいと考えております。また、地域に誇りを感じることができ、激変する未来においても活躍できる人材の育成に努めてまいります。

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちに地域とのつながりを感じられる取組の充実。

【今年度の取組紹介】

《学習支援事業》地域の方による学習の支援

◆家庭科実習支援

家庭科の裁縫実習において支援をしていただきました。本年度は2学期のみになりましたが、大人による支援が得られ、実習をスムーズに進めることができました。



《体験学習事業》ゲストティーチャーによる授業

◆信楽焼体験 / 奈良筆体験 等

本年度も体験学習事業の実施回数は減少しましたが、2学期を中心に可能な範囲で実施しました。多くの児童たちにとっては初めての体験であり、活動を通してその楽しさや難しさを知りました。感染者が減少した2学期に児童に大切なことを伝えようと来校して下さったゲストティーチャーの思いなどを知ることができ、今後の生活などに生かしていくことができる取組となりました。



《環境整備活動事業》地域の方と共に行う環境整備

◆通学路清掃、図書整備

保護者の方や学校近隣の方に学校環境の整備を進めていただきました。図書室の整備、通学路清掃は本年度も児童と一緒に活動することができませんでした。しかし、きれいになった通学路を歩き、図書室を利用することで、環境整備の大切さを感じていました。

【今年度のまとめ】

子どもたちは信楽焼体験等、日頃体験することのできない体験を通し、多くの事を学びましたが、本年度も新型コロナウイルス感染症のため、計画していた多くの事業が中止となったことはとても残念でした。

学習の中で招聘した地域の方やコーディネーターの方と挨拶ができる児童が増えてきています。「地域で育っている心豊かな登美っ子」を意識させることができる貴重な学習となりました。

通学路清掃や図書整備は地域の方と行いませんでしたが、きれいにしていただき、とても喜んでいました。見守りで立哨されていた地域の方に進んで挨拶をし、お礼を言う児童もいます。感謝の気持ちを抱く姿勢を大切にしたいと思います。

【来年度に向けて】

来年度は学年に応じた様々な体験学習や行事を行えるよう、実施の時期や形態を臨機応変に考える必要があります。今後も保護者や地域の方々と連携を深め、さらなる交流や繋がりをもつことにより、心豊かで自分が生活をするこの地域に誇りをもてる登美っ子の育成を目指していきたいと思ひます。

めざす子ども像

「気づく、学ぶ、考える子どもを育てる」

取組目標

- 地域人材を生かした体験的学習の充実と読書活動の推進。
- 恵まれた環境を生かした栽培活動や遊び・運動の推進。

【今年度の取組紹介】

○昔遊び体験（1年）

例年実施している体験学習の1つで、今年度も地域みなさんに来校いただき、直接教えていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染の拡大により急遽取りやめました。それに代わる方法として、事前に来校いただき遊び方について動画撮影を行い、その動画を見て児童が昔遊び体験を行うことにしました。



（教員と地域の方の動画撮影の様子）



（地域の方が説明する動画を見る児童）

「たけとんぼ」や「めんこ」、「おはじき」など9種類の遊びを体験し、子どもたちは、活き活きとした表情で楽しんで活動できていました。併せて、地域の方々に、子どもたちの様子や今年度の教育活動の様子を知っていただけたことは、今後の学校教育への支援の在り方を考えていただける貴重な場となりました。

【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染防止に努めながら実施できたこともあれば、やむなく実施を中止した活動もありました。このような状況下で子どもたちが人と接することが少なくなり、コミュニケーション能力の育成の場が減少したことを実感しています。本来ならゲストティーチャーに会って、直接話しながら学ぶことが望ましいのですが、それが叶わないときには、今年度のように事前に動画撮影したものを見たり、ライブで中継して会話したりすることもできるようになりました。学びをとめないように、今までにない新しい学び方を構築できた一年となりました。

【来年度に向けて】

ICT 機器を用いた活動や ICT 機器を活かして遠隔地に住む人との関わりによって、できなかった活動ができるようになってきました。それをふまえて、一方的ではなく、双方向でコミュニケーションが取れる活動や効果的な学習となるように、今後の活動形態や人数、活動そのものを精査するとともに、取り組んでいきたいと考えています。

めざす子ども像

「気づく、学ぶ、考える子どもを育てる。」

取組目標

豊かな心を持ち、たくましく活動する幼児をめざして**—遊びや人との関わりを通して—****【今年度の取組紹介】**

◆「感動体験事業」サッカーで遊ぼう

地域のゲストティーチャーに来ていただき、ゲーム遊びを取り入れ準備体操をしたりボールを使って片足でバランスをとったり、キャッチしたり、蹴ったりしながらサッカーを通して体を動かす楽しさや心地良さを味わいました。また、ビブスを着てチームに分かれ、ゲームも楽しみました。「こっちに蹴って。」「〇〇ちゃん、がんばれ。」と、自分のゴールを目指して蹴ったり、ボールを追いかけてたりして、力いっぱい体を動かすことができました。サッカーを通して体を動かす楽しさを感じ、日々の保育の中でも、子ども自らサッカーゴールや応援席を準備して、意欲的に活動する姿が見られるようになりました。



◆「環境整備事業」「食育支援事業」花植え・栽培活動

園内のプランターに季節ごとに色とりどりの花を植え、毎日水をやり世話をすることで「お花が喜んでみたい。」「大きくなってきた。」と、生長を喜ぶ声が聞こえました。また、園内にある「すくすくファーム」では、夏野菜や冬野菜など保護者や地域の方と一緒に生長を楽しみながら育てました。季節を感じながら収穫を楽しみ、何度も家庭に持ち帰り調理して食べる等、食育活動にもつながりました。昨年植えて収穫したバジルの種を今年蒔いたところ、たくさんの芽を出しました。「おいしい匂いがする。」「ピザの匂いがする。」と、五感で感じたことを伝える姿が見られました。植物を育てることによって、自分の感じたことを言葉にする楽しさや、生長の喜びを感じられる感動経験につながりました。

**【今年度のまとめ】**

- 新型コロナウイルス対策の為、時間を短くしたりグループを分けたりして工夫しながら事業を行うようにして、地域の方との温かい触れ合いを大切にしてきました。子ども達は、様々な経験の中で思ったことや考えたことを伝え合う喜びや表現する楽しさ、人と関わる嬉しさを感じました。事業を通して豊かな心やたくましく活動する姿の育ちにつながりました。
- ホームページや園内の写真掲示、自由参観を通して保護者や地域に発信することで、園教育に興味をもっていただく機会となったと思います。

【来年度に向けて】

新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら継続して活動を行い、子ども達が友達と協力する楽しさ、自然に対する興味や関心を広げ、心豊かに成長できるように今後も事業を進めていきたいと思ひます。また、閉園に向けて保護者・地域の方々に感謝しながら閉園事業を進めていきたいと思ひます。

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

**地域とのつながりを持ち、子ども達が、
楽しさ・温かさ・思いやりを感じられる充実した取組を行う。**

【今年度の取組紹介】

地域にある『NPO法人ソレステレージャ奈良2002』よりコーチを招き4・5歳児がサッカー教室に参加をしました。教室の始めと終わりにはきちんと「礼」をし、規律やルールについても体を動かしながら学ぶことができました。転んでも直ぐに立ち上がり、必死になってボールを追う姿もあり、心身共にたくましさが育まれる活動となりました。

また、英語教室では学期に1回ゲストティーチャーに来園していただきました。先生のユニークな雰囲気に入れ、子ども達も楽しんで参加することができました。絵カードを見たり、絵本を読んでもらったりしながら英語に親しむことができました。英語教室の中では、活躍できる場を子どもに与えてくださり、個々の自信にもつながる機会となりました。

環境整備事業では草刈り機で園庭の伸び切った草を刈っていただいたり、園庭や砂場に砂を入れ整備をしたりしていただきました。環境の整った園庭は開放感があり、日々の遊びや運動参観などの活動を充実して行うことができました。園職員だけではできないことも、地域の方の協力を得ることで、子ども達にもよりよい環境を提供することになり充実した生活につながりました。



【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染症の急拡大もありましたが、対策を講じながら今年度の事業を実施することができました。「サッカー教室」では、実施日の前から子ども達は「サッカー楽しみやな」「早くサッカー教室の日来ないかな」と、楽しみにする姿がありました。期待に胸を膨らませ当日を迎える日が続きました。事業を継続していくことで子ども達の期待は膨らみ、楽しんで参加する姿につながりました。今後も地域の教育力を活かし、園教育の充実を図っていきたいと思います。

【来年度に向けて】

新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じながら、地域・学校・園と連携を図り、子ども達にとって温かなふれあい体験や感動体験ができるよう、園活動の充実に取り組んでいきたいと思ひます。